

【最優秀賞】

勝山市・三室^{みむろ}小学校1年生 小池^{こいけ} 達也^{たつや}さん

タイトル：「がお～っ」



【審査員長コメント】

首をあげて、空に向かって立つ恐竜が、実にどっしりと力強く描かれています。赤一色で、紙いっぱい大きく描いています。クレヨンを力いっぱい握って、まるで、恐竜が動き出してしまう前に、一気に描きとどめたような勢いです。あとは、空と大地だけ。余計なものがない分、恐竜の強さと大きさが際立っているように感じます。恐竜の左側のいくつかの丸っこい形や四角い形は、口から出てきたものでしょうか。それとも、手足でしょうか。見る人の想像を掻き立てますね。

【恐竜博物館賞】

越前市・愛星^{あいせい}保育園 4歳児 藤木^{ふじき} 彪^{ひゅうご} 冨^ふさん

タイトル：「なが〜い首のブラキオサウルス」



【審査員長コメント】

まっすぐに伸びた長い首、そして胴体としっぽが、画面に大きくV字を成し、画用紙に入りきるのがとても大変だっただろうと思うほどに、ダイナミックに描かれた美しい作品です。この首長恐竜の色は、青い色に、周りの景色と同じ黄緑色が重ねられ、力強く塗り込んであります。背景がやさしい線描きなので、なおいっそう恐竜が力強く浮かび上がってきます。背景はやさしい線描きながらも、木のかたちや丸いかたちを、とてもよく考えて、だいじに描いています。さて、この首長恐竜さんの大きな丸い瞳には、何が見えているのでしょうか。

【ラプト賞】

勝山市・成器南小学校 2年生 ^{せいきみなみ} 古川 ^{ふるかわ} 海龍 ^{かいりゅう} さん

タイトル：「くさがいっぱい」



【審査員長コメント】

恐竜の周りには、たくさんの樹木や草が、ところ狭しと描かれています。これだけたくさんの樹木や草を、それぞれかたちや色や塗り方を考えながら一気に描きあげた力は、素晴らしいものがあります。ただ機械的に塗り込んだような描き方とは全く違い、こんな感じという意図を感じさせる力強い筆づかいで、見る者にそれぞれの草木や森全体の様子を豊かに想像させます。真ん中の恐竜には色がついていませんが、中途半端な感じが全くありません。それは、恐竜の強そうな表情や、脚の独特のかたちなど、よく工夫してしっかりとした線で描かれているからだと思います。森の中の恐竜、これから面白いお話がどんどん広がりそうですね。

【サウタン賞】

鯖江市・豊^{ゆたか}小学校4年生 柳田^{やなぎだ} 莉夢^{りむ}さん

タイトル：「みずをのむきょうりゅう」



【審査員長コメント】

クレヨンや鉛筆による輪郭を描いた後に絵具で色づけたという作品ではなく、絵具だけで描きあげた作品です。色の濃淡を実に見事に使いこなしています。地面から空まで青色だけで描かれています。空の色はやさしく薄く、雲のかたちは塗り残してできたかたちです。恐竜が飲んでいる水のある場所は輪郭が無く、背景に溶け込んでいますが、その濃さが水たまりや池を想像させます。そして、恐竜の口から入った水は、茶色いおなかの中に溜まっています。恐竜の茶色も、頭の部分はしっかりと濃く、おなかは水が見えるように薄くなっています。透けてみえるという描き方が、とても面白いですね。筆でおおらかにのびのびと描かれた絵ながら、その絵具の使い方は驚くほど上手で繊細です。

【ティッチー賞】

福井市・あさむつ保育園 4歳児 ^{いしばし}石橋 ^{じん}仁さん

タイトル：「お母さん恐竜」



【審査員長コメント】

たくさんの色を楽しみながら、だいにだいに描き上げた作品ですね。お母さん恐竜には、まるでやさしさを表わすように、ピンク色やオレンジ色、黄色といった暖かい色を使っています。お母さんのそばには巣があり、巣の中にはたまごがたくさん入っています。だいな卵を守るかのように、卵の周囲は緑色のクレヨンで強くしっかりと、何度も何度も塗り重ねられています。お母さんのあしもとにいるのは、少し先に生まれた赤ちゃん恐竜でしょうか。オレンジ色の線で描かれた2本の植物は、絵全体に情景を感じさせ、楽しくしています。親子のあたたかいきずながにじみ出ている作品ですね。